

カウンター係
(高校1年生)

私は、今まで行った図書館の仕事で一番やりがいを持ったのは、カウンター係です。理由はパソコンになれることができ、さらに友達と話しながらゆったりと行えたので楽しくできる仕事でした。活動する回数が少なかったため、仕事を覚えるのが大変でした。でも、本を借りる人や返す人の役に立ててよかったです。

広報係
(高校2年生)

新しく入った本を新着図書案内で紹介しています。前期は秋号を作成しました。図書案内は、2Fの掲示板や教室に掲示してあります。少しでも多くの方に、掲示板を見て興味を持っていただけたらと思います。図書館案内を通じて、図書の魅力をみなさんに伝えたい！という思いで毎号制作しています。また、図書館で行うイベントの準備などをしました。宝さがしイベントのクイズ作成です。好きな本を選びヒントを書く作業が印象に残りました。

選書係
(一貫3年生)

図書館に無い本や新しい本、追加したいなと思った本を厳選する役割を担っています。毎週集まり「この本はみんなが好きそうだな〜」と思った本や、「この本面白そうだな〜」と思った本を選書し、その本を審査に出します。毎週決まった曜日のお昼に集まり、12:50~13:05まで、タブレットで選書する本を調べ、その本について紹介する文を作成します。作成した紹介文は図書館にあるので、見ていただけたら嬉しいです。

展示・館内装飾係
(一貫5年生)

私たちは主に2つの活動を行いました。1つ目は、自分がそれぞれおすすめしたい本を決め、その本に関するPOPを作ることです。2つ目は季節ごとに合わせて図書館内の飾りつけを作ることです。これは、POP作りと違って、一から自分で画用紙を選んで作るのではなく、司書の方から頂いたイラストを切ったりします。

イベント係
(高校2年生)

図書館に来てくださるみなさんを、楽しませたり、より本に興味をもってもらえるような企画を考えたりしています。私は2回目の図書委員ですが、初めてイベント係を経験しました。すぐろくやヒントから本を探す企画など、イベント係のみんなでアイデアを出し合っていました。楽しんでもらえているでしょうか。自分達で考えた企画が好評だと聞くと、とても嬉しいので、これからもみなさんが楽しく、本に興味をもってもらえる企画を考えたいと思います。たくさんの参加をお待ちしています。

イベント係
より

後期の活動予定 / ミニ読書会
本のことを色々話し合える読書会です。気軽にご参加ください！
12/11※ 1/15※ 2/12※
15:10開始 会場：図書館

第5回 名女読書会
年に一回行われる読書会です。
3/11※ 15:10開始 会場：図書館

色々なイベント
後期もみなさんに楽しんでもらえるようなイベントを開催します！お楽しみに！
※予定が変更される場合もあります。その場合はポスター等でお知らせします。

令和元年度文化祭発表 図書館で調べ学習を行った学年の文化祭発表の様子を紹介します。

一貫1年生

本校の創設者である春子先生の功績や春子先生の生まれ育った東白川村について調べ、展示発表しました。模造紙での発表だけでなく立体模型やクイズなど様々な工夫がされていて、体験型の発表となっていました。



みんなのレポートがずらーり！



入口も凝っています！ 各班の集大成！ 東白川村特産の茶畑の再現

一貫2年生

総合的な学習の時間に図書館の本やインターネットを利用して環境問題の現実やその解決策を調べ、模造紙に分かりやすくまとめたレポートを展示発表しました。また、環境をテーマとしたピンボール・ポーリングクイズなど参加型ブースが多数用意され、楽しく環境問題について学べるように工夫がされていました。



環境をテーマにしたバルーンアート



エコキャップを使った展示も ピンボールも体験できます ポーリングなども…

一貫4年生・高校1年生

色々な国について調べたことをそれぞれのクラスで発表しました。立体的なオブジェや、わなげなどのミニゲーム、各国について調べたことが模造紙にまとめてありました。



各国へのパスポート！



模造紙での発表もcuteに♪ 日本の緑日のわなげ オブジェが凝っています！

一貫3年生

学問探究合宿で訪問した企業についてそれぞれ模造紙にまとめ、発表しました。教室の床に線路を作り、椅子を電車に見立てることで、着席した来場者がアトラクションのように楽しみながら室内見学ができるように工夫された展示となっていました。途中、挑戦してもらった企業クイズも解答の正否によって、色の違う門を通過させるなど、凝った仕掛けが見られました。



企業クイズに挑戦！



入口はとてもPOP♪ 企業名の書かれた穴にボールを投げよう クイズの結果は…

編集後記

今号の図書館ニュースでは「読書でつながる」をテーマに図書委員の各係からおすすめの図書やイベントを中心に紹介をしました。図書委員主催で毎月行っているミニ読書会や読書にちなんだゲームも毎回楽しみに参加してくれる方が増えてきています。後期も図書委員が工夫を凝らした取り組みを企画中です。読書をおとしたつながりをますます広げてみてください。

図書館ニュース

読書でつながる

No.97

令和元(2019)年12月10日 ●名古屋女子大学中学校・高等学校図書館●
<https://lib.meijodai.ed.jp>

本を読もう！本を話そう！！

小林航一 教諭(社会科)

皆さんは二宮金次郎の像を知っていますか。薪を背負いながら読書をしている像で、勤勉に働きつつも、学問に力を入れた人格者の姿として、以前は各地の小学校に設置されていました。実際に江戸時代の貧しい農家に生まれた金次郎少年は、町で評判になりました。ただし、「勉強好きな感心な少年」ではなく、「百姓にあるまじき変な少年」として。本を読む余裕があるなら、もっと速く歩くとか、もっとたくさんの薪を背負うのが、百姓の信条だった時代なのです。翻って今はどうでしょうか。本を読んで怒られることはまずないでしょう。むしろ読みなさいと言われるかもしれません。私も本を読む少年ではなかったのですが、高校生の時、父から沢木耕太郎の『深夜特急』を勧められたことで、読書の機会が増えました。この小説は、インドからイギリスまで、バスで旅することを思いついた筆者の紀行小説です。小説の中で筆者は、無料で立ち寄れるからと香港に寄り、宿賃が安いからとインドで何週間もダラダラ過ごします。無計画に、感じるままに進んでいくこの旅は、忙しい日常に束縛感を抱いていた当時の私にとって衝撃的でした。そして、この衝撃を幾人かに話したことで、読書を介したつながりが生まれました。

本を勧めてくれた父に感想を話すと、父も高校時代に夢中で読んだと教えてくれました。そして、ある晴れた平日、『深夜特急』のような無計画で気ままな旅に、父と出かけることになりました。好きな音楽を流しながら富士五湖を抜け、伊豆の太平洋をあおぎ、箱根の星の王子様ミュージアムをめぐる。そんなとりとめのない小旅行を、今も鮮明に覚えています。

また、本の感想を読書ノートに書いたことで、担任の先生と本の話をするようになりました。思い出深いのは、夏目漱石の『こころ』についてのやりとりです。私が学級誌に「『こころ』の面白さがわからない」と書くと、「『こころ』は年齢を重ねるごとに面白さがわかる本だよ」と返してくれました。このコメントが印象に残った私は、二十歳になってから文庫本の『こころ』を買い、時間をかけて読んでみました。“面白い！”とはまだ思えませんでした。また年を重ねて読んだ時、どんな気持ちになるかわくわくする本となりました。

私にとって読書を介したつながりは、本の中だけでなく、現実世界も豊かにしてくれるものです。ただの活字から想像される風景や感情は、読む人の数だけ変化し、同じ本でも話す人によって新たな発見が生まれます。それはある種の偶然性を楽しむものだと思います。読書をするのが強く肯定されている今この時代、普段本を読まない人も、お勧めの本などを読んでみてはいかがでしょうか。また、時には本の話をしてみてはどうでしょう。きっと人生を豊かにする経験が得られると思います。

部活動展示 JRC部

JRC部(Junior Red Cross)の部活動展示です。ボランティアや福祉の本がたくさん紹介してあります。



部活動写真と共に、かわいい手作りPOPも飾ってくれました。

